



化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : プロフォーム310T (型式番号：泡第23～3号)

会社名 : ヤマトプロテック株式会社
住所 : 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
電話番号 : 0570-080100 (ナビダイヤル)
担当部門 : テクニカルサポート室

推奨用途及び使用上の制限 : 泡消火薬剤 合成界面活性剤泡消火薬剤 (原液)

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分

本品に関するデータが不足している為、GHS分類できない。
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 強い眼刺激
臓器の障害の恐れ
水生生物に有害

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

注意書き

- 安全対策** : 使用前に取扱説明書を入手し全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと（末梢神経系）。
環境への放出を避けること。
- 応急措置** : 取り扱った後、手を洗うこと。
次の場合は直ちに医師に連絡し診断、手当てを受けてください。
（皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合。）
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露した場合、医師に連絡すること（末梢神経系）。
- 保管** : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること（末梢神経系）。
- 廃棄** : 内容物、容器を廃棄する時は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理すること（末梢神経系）。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 合成界面活性剤泡消火薬剤

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	(2)-422	25～30%
エチレングリコール	107-21-1	(2)-230	約8%
ポリオキシエチレンアルキルエーテルサルフェートアミン塩	あり	(7)-155	約10%
高級アルコール硫酸エステルアミン塩	あり	(2)-1679	約10%

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水、及び石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分間以上洗浄した後、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。

応急措置をするものの保護 : 救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 不燃性につき、該当しない。

使ってはならない消火剤 : 該当しない。

特有の危険有害性 : 特になし。

特有の消火方法 : 該当しない。

消火を行う者の保護 : 該当しない。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業には、必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはならない。

除去方法

少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに洗眼、及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項 : 特になし。

安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 : 室内の通気のよい場所で容器を密封し保管する。

安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

エチレングリコール

日本産業衛生学会（2008年度版） 設定されていない。

AGGIH（2008年度版） TWA-STEL C 100mg/m³（エアロゾル）

ジエチレングリコールモノブチルエーテル

日本産業衛生学会（2008年度版） 設定されていない。

ACGIH（2010年度版） 設定されていない。

ACGIH（2011年度版） 時間加重平均値 7ppm（提案値）（吸入性ミスト及び蒸気）

設備対策

設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な呼吸保護具を着用すること。

手の保護具 : 適切な保護手袋を使用すること。

眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡黄色透明液体
臭い	: グリコールエーテル臭
pH	: 7.4 (20)
融点・凝固点	: -15 以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 100 (水)
引火点	: 沸点以下ではなし
爆発範囲	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度（空気 = 1）	: 情報なし
比重（相対密度）	: 1.04 (20)
溶解度	: 任意の割合で混和する（水）
オクタノール/水分配係数	: 該当しない
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。



臭いの閾値	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
燃焼性（固体、ガス）	: 該当しない
粘度（粘性率）	: 10cSt（20℃）

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし。水との有害反応性なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

エチレングリコールとして

急性毒性（経口）	: 区分5
皮膚腐食性及び刺激性	: 軽度の皮膚刺激（ウサギ）
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 中程度の刺激性（ウサギ）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 区分1（中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分1（中枢神経系、呼吸器、心臓）
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 化学的酸素要求量 COD 9000mg/L (3%希釈水溶液) 生物化学的酸素要求量 BOD 16000mg/L (3%希釈水溶液)
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

焼却する場合、関係法規、法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器及び包装

空の汚染容器、包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制	: 陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は、定められている運送方法に従う。 : 航空規制情報 航空法に該当する場合は、定められている運送方法に従う。 : 海上規制情報 船舶安全法に該当する場合は、定められている運送方法に従う。
国際法規制	: 航空輸送はIATA、及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類	: 国連分類基準に該当しない。
海洋汚染物質	: 該当しない。
輸送の特定の安	
全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがない事を確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2 施行令第18条の2別表9） エチレングリコール（政令番号75）
化学物質排出把握管理促進法 （PRTR法）	: 該当しない。
毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
消防法	: 危険物に該当しない。
航空法	: 該当しない。
船舶安全法	: 該当しない。

16. その他の情報

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。

またすべての化学製品には未知の危険性や有害性があり得るという認識でご使用下さい。危険性や有害性も、使用時の環境、保管状態、保管期間によって異なります。ご使用時を含め、保管、廃棄に至るまで専門知識や経験のある方の指導の元で扱うことをおすすめします。

なお、記載の注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いをする場合には状況に適した安全な条件設定を講じた上で、ご使用者各位の責任において使用して下さいをお願いします。

本MSDS記載の内容は我々が知り得た最新の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや危険性、有害性等の記載内容に関してはいかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
